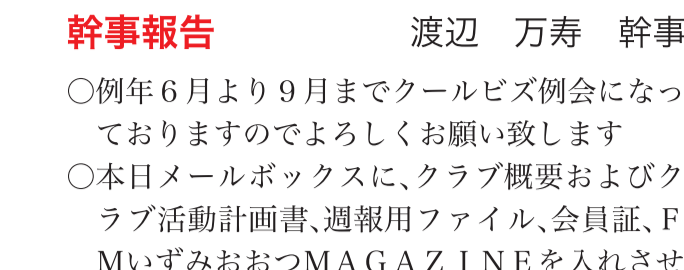


週報 第312回

会長 植村 勢彦 副会長 原 正人
幹事 渡辺 万寿 SAA 西田 佳郎

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
T E L 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2021年7月9日)

■ プログラム

クラブアッセンブリー
各奉仕部門担当理事

■ 次週のプログラム

7月16日:卓話担当 南出 和成 会員

■ 今後の予定

・7月23日:例会休会
・7月30日:ガバナー公式訪問

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

それこそロータリー

今月の歌

知床旅情

知床の岬に はまなすの咲く頃
思い出してくれ 俺達のことを
飲んで騒いで 丘に登れば
はるかクナシリに 白夜は明ける

■ 先週の例会

幹事報告 渡辺 万寿 幹事

○例年6月より9月までクールビズ例会になっておりますのでよろしくお願致します
○本日メールボックスに、クラブ概要およびクラブ活動計画書、週報用ファイル、会員証、F M いざみおおつMAGAZINEを入れてさせて頂いておりました
○本日例会終了後、第1回理事役員会がございまして関係者の皆様は、ご参集の方よろしくお願致します

委員会報告

○今月は席をくじ引きで決めさせて頂きました。今月いっぱいはこの席でお願い致します
○今月の親睦行事の為にワクチン接種アンケートをメールボックスに入れてさせて頂いておりますのでご提出よろしくお願致します
○来週例会終了後、親睦活動委員会を実施しますのでよろしくお願致します
(櫻井 善章 親睦活動委員長)
○前年度理事・委員長の方は、活動報告書のご提出よろしくお願致します
○ロータリーの友7月号の読みどころの紹介
(山本 博章 会報・IT委員長)

■ ビジター なし

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第312回

■ 出席報告 会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
7/2	35名	8名	—	81.40%
6/18	32名	12名	3名	79.55%

■ メークアップ

榎本(6/24 高師浜RC)
藤野(6/30 和泉RC)
根尾(6/4 新田理事役員会)

■ ニコニコ箱

一年間宜しくお願いします(植村)
・皆様、1年間宜しくお願いします(渡辺)
・一年間宜しくお願いします(西田)
・植村会長、渡辺幹事、西田SAA、一年間よろしく!(高寺)
・植村会長はじめ理事・役員の方々、ガンパッテ下さい。一年間よろしくお願致します(藤野)
・会長、幹事、SAA、スタートです。がんばって下さい(寺田)

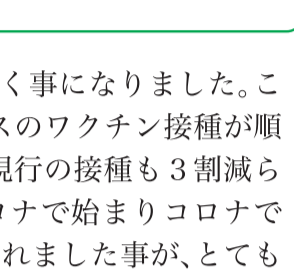
■ 点鐘ゴング引継ぎ

白谷直前会長から植村会長に点鐘ゴングが引継がれました

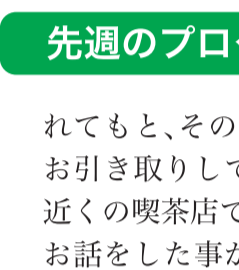


■ 地区役員委嘱状授与

地区役員の方々に委嘱状が授与されました



先週のプログラム 「新年度会長挨拶」



いよいよこの日がやって来ました。本日より会長を務めさせて頂く事になりました。これから一年間宜しくお願い致します。最近、新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進んでいると思いきや、ここに来て新規予約はストップし、現行の接種も3割減らすなど、何をされているやら、本当に腹立たしいです。昨年コロナで始まりコロナで終わったような感じがします。それでも65周年式典も無事に終了されましたが、とても嬉しく思います。白谷直前会長は、大変なご苦労も有りましたが、本当にお疲れ様でした。私は直前会長のロータリーの存在価値やその思いを継承させて頂きます。そして中バスト会長の楽しい例会・楽しい卓話も継承して行きたいと思えます。継続は力なりです。今年もまだ気が緩められませんが、この1年半で何もかもが一変されました。大事な人、愛する人の為にソーシャルディスタンスを保ち、窮屈な生活を強いられて来ました。こんな時だからこそ、変化に対応してチャレンジして行きたいと思えます。

今年度のRI会長シェカール・メータ氏のテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために、Serve to change the lives of others.」奉仕は誰かの人生だけでなく、自分の人生に世話をし、奉仕することが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かにできるのだから、と述べられています。何か「超我の奉仕」を解りやすく説明しているテーマだと思えます。

話は変わりますが、これから一年間開催の時間が沢山ありますので、今日のお話からも時間切れで最後まで喋れなくなりますが、毎日という事でご了承下さい。最近入会された仲間も以前からの仲間も、私の事は、名前と外観は知っているが、中身まで知らない人も居られますので、もっと身近に感じられる様に、自己紹介を兼ねて今日までの私の人生経験や、体験談そしてロータリーへの思いを、時系列でご紹介させて頂きます。面白い時は遠慮せずに笑って下さい。その方が免疫力も高まって良いと思えます。

まず私がロータリークラブに入会したきっかけは、今から14年前の2007年の6月の初旬に、JCの大先輩の木野靖勇先輩が私の会社に来られて、「ロータリークラブに入会しなさい」と言われましたが、急に言わ

れても、その時は雑談をして現況をご説明してお引き取り頂きました。木野先輩とはたまに近くの喫茶店で会う程度くらいでそんなに親しくお話をした事が在りませんでした。それよりも以前から川上正人先輩から事案う度に、「ロータリークラブに入会しなさい」とお誘いがありましたが、ニコニコ笑いつつその場をしのいでいました。また近い仲間で原正人会員からも「どうですか?とお誘いがありましたので、体力的にまた精神的にも自信がなかったもので断りました。その原因はまた後程説明します。そうこうしているうちに3ヶ月位した夏の終わりに、また木野先輩が突然書を持ってきて、少しお話をとこころで、入会申込書を持ってきて下さり書いて下さり、入会して帰って行きました。まだ入会するとも何も言っていない。半ば強引に置いて行かれた。そして身近な原会員に相談したら、「言われていた事が花です」と、何か意味深な言葉が帰って来たので、色々考えた末に決心しました。一番先に川上先輩に「ロータリークラブに入会します」と、報告してスポンサーになって頂き11月に入会することになりました。入会初日に、当時の会長であります深井先輩からロータリーバッヂをつけて頂き、そして入会の挨拶とさせて頂きました。今でも覚えていますが、「品格と気品のあるロータリークラブ」に入会させて頂いたことを感謝致しますと言いました。その当時は、ほとんどの方がスーツにネクタイ姿で、泉大津の紳士・淑女の集りだと思えました。今はクラブビズが承認されてからは、少しラフなスタイルになっている様に思えます。そして入会を祝して、シャンパンでの乾杯には驚きました。

ロータリーライフの中身は省略しますが、簡単にご紹介すると、親睦活動委員会を3年目で委員長に成り、それから社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・クラブ奉仕の理事を歴任し今日に至っております。その中でも親睦活動委員会は、とても楽しかった思い出があります。今までの親睦の委員長を2回させて頂きましたが、それぞれに楽しかった思い出があります。他の委員会の理事をさせて頂いた時は、何をしたらいいのかわからず見様見真似で時を過ごしましたが、クラブアッセンブリーやフォーラムの時に、テキストを読み勉強して、少しずつ理解した様に思えます。自分なりに楽しいロータリーライフを過ごして来た様に思えます。

先週のプログラム 「新年度会長挨拶」

又ここに来る迄には、人間形成の場で、社会人大学としてJC(青年会議所)に入会した経験が多くなっているからだと思います。その中でも多くの元メンバーがおりますが、私は29歳で入会し40歳迄の11年間は、とても充実した青春時代を過ごして来ました。入会の面接と指導力委員会の委員長、西端会員のお父さんでした。また同期に小野寺会員のお父さん、知っている方もいらっしゃるが歯医者の西村先生、他にも沢山居られますが、卒業後もこの二方とは、今でも定期的にゴルフや会食を楽しんでおります。ちなみに当時の理事長は松内会員の叔父さんの松内 弘さんです。私は常々ね、「縁と運」を大事にしていますので、皆様との縁もこちらで見ているわ、とうとう僕ももうこれでその当時、「奉仕・修練・友情」の三信条と言うものがよく聞かれています。しかしながら29歳の若造では、いきなり奉仕からは入れませんでした。私は、「修練をして友情を育み、力を合わせて奉仕活動」をしようと自分に言い聞かせていました。JCは単年度事業・意見交換をして、立案・予算案・実施計画案を理事会に提出してそこで決定するので、不十分な場合は差し戻されます。もう一度時間をかけて練り直して再提出、そんな事をやっている間に友情を育み、みんなと一緒に力を合わせて事業に取り組み奉仕活動をして来ました。色々な思い出も沢山ありますが、特に市民ふれあいフェスティバル、日曜日に実施するのですが、野外でテントを張って行きますので、雨風の心配で一晩中現場で見張りをしながら過ごしました。辛かったけど楽しかったです。また市民の動員や行政との打ち合わせ等々、色々な勉強させて頂きました。他にも事業や体験も色々有るのですが、時間がないからあつても限が無いので、もう一つだけ言うなら、27位前にJCの創立35周年記念事業で、ここにいる仲間の上田勇樹さんが、実行委員会の委員長をした時に、私もこの中にいる仲間達とも、「あーでもない、こうでもない」と意見を述べている間に友情を育み、みんなと当時から環境問題に取り組んでいましたので、クリーン作戦として市内一斉美化運動を行おうとしました。今も行政に引き継いでいる530ごみゼロ作戦です。泉大津市役所をはじめ全自治会も巻き込んだので一大イベントでしたから、真夜中まで時間をかけて意見交換をしたり、飲み会をしたり、若い時ですから

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第312回

労力も惜しまず突っ走りしました。そして無事に終了出来たことが、今でもいい思い出になっています。ちなみにご「ごみゼロ作戦」の由来は、たまたま実施日の5月の最終の日曜日が5月30日だったからだけです。こうして事業が終わり後片付けも終わった段階で、みんなと一緒に、ビールで乾杯し、始まる「青春の居酒屋」もこれまた最高でした。今でも気持ちは変わりませんが、ただ今は、体力も気力も衰えてしまい、過去の青年が、今は普通の高齢者になってしまっています。当時から私は「刺激を求めてJCに入会し、刺激を与えられる人間になって卒業してください」とよく言っていました。そして40歳で卒業したからは、2~3年はそれなりに過ごして来ました。友人の時に青春時代の思い出の場所、ラウンジ・コバンで友人と飲みましたら、仲間の藤野修次会員が楽しそうに、ニコニコしながら入って来たので、「何処に行ってきたん?」と聞きました。青年部の帰りの帰りに寄ったと言いましたので、すぐさま青年部について面白いか?と聞きしました。それから色々な話を聞いてから入会しました。またこの中に数名居りますが5~6名の仲間も誘いました。毎年の11月に行われる全国大会や、韓国・中国2回・ベトナム等の海外視察研修旅行なんかにも多数参加させて頂きました。私は以前にも卓話で「人生は思いで作り」と言いました。青年部は50歳で卒業するが、その間もいろいろ思い出が沢山出来ました。しかしその間に私にとっては、人生の一大事が今から22年前の45歳の時に起こりまして、大病を患いました。病名は肝臓癌でした。ステージIIでの当時は、開腹して癌の摘出手術か、アルコールで焼くくらいしか治療法が無かったのです。今はラジオ波照射術や重粒子治療などもあります。手術までの間に約一ヶ月入院して検査等を受けている間は精神的に地獄でした。子供たちはまだ小さいですし、今後はどうなるのかとか、その当時の術後5年生存率が35%なのか。今でも10年生存率は19%です。何事もポジティブに考える自分が、どんなにネガティブになって行くかと毎日怖かったです。そして会社の事も行くようになります。毎日時間になれば業務連絡を聞きに行けるか?どう?とでも心配でした。創業して10年目ですが業績も順調でしたが、これもまたお見えないところで、後にドクターも半分には減らして、ストレスを貯めない様にすることが治療の一環ですと言われました。また家の中は、家内をはじめ子供たちも、とても心配してくれていま

先週のプログラム 「新年度会長挨拶」

意外と記憶に残らないものです。それからは、時とともに体力も気力も上がって来て、段々元の生活リズムが取れる様になり、またポジティブ思考が戻って来ました。以前は煙草を吸っていましたが、手帳の3日前から禁煙でしたので、それから22年間未だに禁煙のままです。そして大好きなお酒の方は、8年間禁酒をしていたのですが、ロータリークラブに入会した翌年だったと思います。木野先輩の旭日章受章の祝賀会が堺のリーガロイヤルホテルでありまして、とても和やかな雰囲気でもみんなが楽しそうにお酒を飲んでいたのですが、ついにその雰囲気も負けてしまい飲んでしまいました。そして今日に至っています。5年生きられるか、10年生きられるか等、自分なりに人生設計を5年ごとに見直して来ました。今年で67歳になりましたが70歳までは生きられるだろうかとか、そんな事を考えながら生活していますので、以前みたいに毎日飲んだりしていません。休肝日も設けて、週に2~3回程度しか飲まない様に心がけています。しかし息子たちと呑んだり、仲良しの友人たちと飲んだりした時は、二日酔いになるくらい呑む時もありました。今は気を付けてセーブしています。当時自分では、50歳位まで生きられるかとか、60歳までは生きられるかとか、気弱な時期もありましたが、子供の成長・結婚・孫の誕生・今は孫の成長など、変化と共に生きる意欲が湧いてきました。会社の方でも、昔はよく従業員にも怒ってました。病気をしてからスタッフにお願いして、失敗を恐れず運営をほとんどお任せしております。気性も丸くなり怒る事も無く、いつも笑顔で居られる様になりました。そうした事によって別の角度から自分の会社を見られるようになります。良い所・良くない所も見えて来ました。トッパダウン型からボトムアップ型に、徐々に変更されて行き、マネジメントも今のところ何とか出来ています。

話は変わりますが私がロータリークラブに入った当初は、右も左も分かりませんでした。早く名前を覚えるために、入り口の受付で、出席者名簿に丸を付けた。週報をメールボックスにポスティングし、親睦活動委員会のメンバーとして、クラブ奉仕を、お手伝いしていることを有意義に思っていました。今でも頭が上がりませんが、その当時から一番先に来られて、皆さんのメールボックスに、週報やロータリーの友等を入れておられたのが、川上

して、本当に可哀想で仕方がありませんでした。自分の病気が大事でしたが家族に苦しみを与えてしまったことが、とても悔やみました。「何で自分が」とか、接待等がよく飲み歩いた。でも精神的に「もっとお酒を飲むのを控えたら良かったのか」とか、色々自問自答をしてるのを覚えています。4月5日に検査入院して、一ヶ月位、一時的にストレスを解消する為に退院し、10日間程で再入院して5月14日に手術を受けました。この頃に成ると又自分のこまごま「粗飯の上の鰹」と思い、反対に周りの家族や友人に心配ないからと言って自分がいきました。いま思えば空元気だったと思います。病院は大阪市北区にて推薦してもらいました。担当医にもとても親切にして頂きました事を覚えています。手術は4時間半から、肝臓の四分の一を切除しました。集中治療室に搬送後意識が薄ら薄ら目覚めること、子供たちや兄弟が頭上に居り、とても心配そうにこちらを見ていたのが、今は近代的なビルですが、何せその当時の北野病院は野戦病院かと思うくらい古くて、当もミシミシと音がする様な所でしたので、集中治療室の計器類も狂っていて急にピーピーと大きな音が鳴り響くので娘が心配で泣き出すし、みんなもこちらを見ているわ、とうとう僕ももうこれでお終いかなと一瞬思いましたが、看護婦さんが来て、計器類のトラブルですので心配いりませんと、聞かされた時はホッとしました。入院中はもう仕事も要らない、お金も要らない健康だけが欲しい」と思いました。それから一ヶ月位して退院をしました。この中の多くの仲間もお見舞いに頂き励まされて頂きました。以前から自宅で療養しながら時を過ごしてました。たまに会社に行ったり家族と旅行に行ったり、先の事が心配で、この先何年生きられるかとか、会社をどうしたら良いのかとか、色々考えさせられました。とても精神的に不安定な時期もありましたが、常に家内をはじめ家族が、支えになって頂き励まされ感謝・感謝です。それをしたら性格も変わるとよく言いますが、本当にその通りです。死んだらどうしようとか、色んな事を考えるようになりました。以前は短気で言うのも何ですが丸くなった様に思えます。

人間は弱っている時に手を差し伸べて頂いた事は、後々まで記憶に残っています。若い時ですから

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第312回

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の事業を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第312回

ていました。あれを見てロータリー賞まで受賞してました。あれを見てると、感心しては、人生は事業をしているんだと、感心してました。我々のクラブも、今のスタイルで良いと思うのですが、何か変化(Change)をして行かなければ、活性化して行かないと思えます。そこで今年度は、活性10年未満の仲間から理事になって頂き、色々な角度から意見交換をして今何が出来るか、何が必要か等を見つめ直す時期だと思えます。ロータリーで自分と異なる友を持つ機会、そして奉仕をやり遂げる事により新しい価値を見出す機会、また自分の知らない所へ行く機会、そしてリーダーシップを得る機会。この様な、色々な機会を与えられる事出来る組織を目指していきたいと思えます。私は常々、例会は人生の道場だと思っております。ロータリークラブは、「親睦と奉仕の実践、互いに切磋琢磨し、生涯の友を得ることが出来る人間形成には最高の場だと思えます。そして、クラブが活性化するために、会員増強にも力を入れていきたいと思えます。今も皆さんのご協力を得ながら、また変化に対応して行きながら、チャレンジして行きたいと思えます。どうかご協力程、宜しくお願い致します。